

創刊号

平成28年  
10月

第69回全国植樹祭だより

# キビタンの森林<sup>もり</sup>

ぼくはふくしまの森林に住んでいるキビタン！  
緑豊かなふくしまの森があるから元気に飛び回ることができるんだよ。



福島県は、平成30年春に、緑のイベント「全国植樹祭」を開催するんだって。今から楽しみ！

第69回全国植樹祭だより  
「キビタンの森林」を通じて  
みんなに教えるね！



## 全国植樹祭 48年ぶりに本県で開催！

昭和45年5月、第21回大会を猪苗代町天鏡台において開催し、昭和天皇から津島マツのお手植えを賜りました。

平成30年の第69回大会を「育てよう 希望の森を いのちの森を」をテーマに開催します。県内外からの招待者約6千人を招き、緑豊かなふるさとの再生と、復興に向けて力強く歩む本県の姿を全国に発信します。

大会への支援の輪が広がっています！

全 国  
植 樹 祭

# ラッピングバス発進!!



8月23日、南相馬合同庁舎において、東北アクセス(株)遠藤社長から小野農林水産部長に広報協賛の目録贈呈がありました。

<http://www.touhoku-access.com/>



南相馬市のバス運行会社「東北アクセス(株)」は、大会PRの協力のため、大会ロゴマークのラッピングバスを6台運行していただいています。

第1号のお客さんは、南相馬市の青葉幼稚園のこどもたち！ピカピカのバスに、カラフルな大会ロゴマークは子どもたちに大人気！



全国植樹祭グッズ(缶バッジ)をもらい、大喜びでした♪

※ラッピングバスは、南相馬～福島間と南相馬～仙台間の路線バスでも運行されます。



# 平成30年 春季 第69回 全国

大会を支える方々の紹介コーナー

## その1 福島県 もりの案内人

このコーナーでは、  
大会を支える方々を紹介します！  
第1回目は、自然観察会などで  
森林の役割・大切さを広く伝える  
ボランティア「福島県もりの案内人」の  
方々です！  
これまで、509名の方々が  
活躍しているよ！



### 大会PRイベント 森林と遊ぶ交流会 でも大活躍！

8月7日開催

もりの案内人の活躍の様子をご紹介します！

全国植樹祭のPRイベント「森林と遊ぶ交流会」を8月7日、伊達市の霊山こどもの村において開催しました。

県内外の子どもたち131人が参加。

当日は10名のもりの案内人の方々が、紙芝居や木工クラフト教室の講師を受け持ち、森林での楽しみ方をやさしく教えてくれました！



薄井文子さんと齊藤節子さんは紙芝居を担当。  
子どもたちに森林の大切さをやさしく語りかけ、大好評！



安斉正博さんは「竹細工」を担当！  
初めてのこぎりを使う子どもたちに、使い方を熱く伝授！

大会では、もりの案内人の活動の様子を発信するとともに、  
大会会場において、植樹方法のアドバイスを担当します！

もりの案内人になるためには

4月頃に養成講座の募集を行います。  
一緒に福島の森林活動に参加しませんか？

興味のある方は福島県農林水産部森林保全課までお問い合わせください。

●電話：024-521-7441 ●メールアドレス：shinrinhozen@pref.fukushima.lg.jp



# 植樹祭ふくしま2018



大会紹介コーナー

## 大会式典会場を 紹介します!



式典会場は、南相馬市原町区の  
海岸防災林造成地で行われるよ!  
大会当日は県内外の招待者が出席する  
式典植樹が行われます。  
式典会場は4.5ha、植樹会場は4.6haの  
広さがあるよ。



第69回全国植樹祭 会場周辺写真

しどけ  
[南相馬市原町区雫地区]

式典会場 植樹会場

平成27年10月撮影

## 大津波から県民の生命財産を守る海岸防災林



海岸防災林の復旧状況(鹿島地区)

福島県の海岸防災林は、東日本大震災の津波の被害により、東日本大震災前に261haあった福島県の海岸防災林は津波の被害によりその約6割となる155haが流失しました。

現在、県はより強い海岸防災林の造成を進めています。(造成面積686ha) この海岸防災林の再生を東日本大震災からの復興のシンボルとして、未曾有の大津波が押し寄せたことを次世代に語り次ぎながら地域住民や企業・NPOの皆様とともに整備や管理を進めています。



東北電力(H28.5.20)



みずほフィナンシャルグループ(H27.5.23)

### 海岸防災林の復旧イメージ図



(津波対策として林帯幅を概ね200m確保し、地下水位から3m程度の盛土と、クロマツ等の植栽を行います)

# お手植え・お手播き樹種紹介コーナー

全国植樹祭では、天皇皇后両陛下にお手植え(6種)・お手播き(4種)を賜ります。  
樹種は福島県にゆかりがあり、広く親しまれている樹種を選定しました。

このコーナーではお手植え・  
お手播き樹種を紹介します。  
今回は天皇陛下の  
お手植え樹種、  
クロマツ、ケヤキ、  
スダジイの紹介です。



## 天皇皇后両陛下による「お手植え」

天皇陛下  
クロマツ・ケヤキ・スダジイ  
皇后陛下  
アカマツ・ヤマザクラ・ヤブツバキ

## 天皇皇后両陛下による「お手播き」

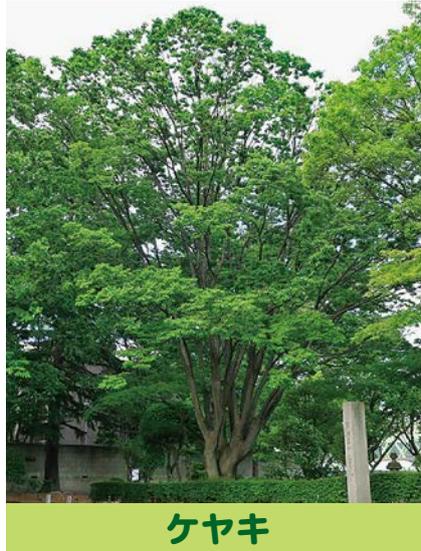
天皇陛下  
津島マツ・飯豊スギ  
皇后陛下  
ベニシダレ・マルバシャリンバイ



クロマツ

### 海岸防災林の基本樹種

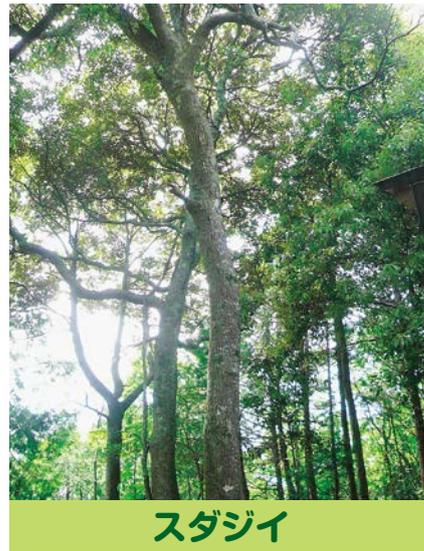
- マツ科マツ属の常緑針葉樹
- 防風、防潮、飛砂防止機能が高く、本県でも江戸時代から植栽されてきました。
- 東日本大震災の津波により、クロマツを中心に海岸防災林の6割が失われましたが、再生を進めています。
- 本大会では、松くい虫に強い、抵抗性クロマツを使用します。



ケヤキ

### 福島県と大会開催地南相馬市の「木」

- ニレ科ケヤキ属の落葉広葉樹。箒を逆さにしたような樹形をしています。
- 山野に自生するほか、庭木、公園樹、街路樹としても植えられ、県内に広く分布しています。
- 優れた材質から、建築用材だけでなく、会津漆器などの伝統工芸品にも幅広く利用されています。



スダジイ

### 浜通り地方の常緑広葉樹を代表する樹種

- ブナ科シノキ属の常緑広葉樹。暖地の山地に自生しています。
- 秋にドングリをつけます。
- 防火・防風機能が高く、屋敷林などに利用されています。
- 南相馬市の初発神社にあるスダジイは、自生の北限地であり、県指定の天然記念物に指定されています。

## お知らせ コーナー

### 第69回全国植樹祭の 大会ロゴマークをご使用いただけます!



第69回全国植樹祭ロゴマークは大会の趣旨にご賛同いただける皆様にお使いいただけます! 使用する場合には、申込みが必要です。詳しくは、第69回全国植樹祭のホームページをご覧ください。



大会ロゴマーク横ver.と縦ver.

## お問い合わせ

### 第69回全国植樹祭 福島県実行委員会事務局

(福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-8628

FAX 024-521-8658

福島県全国植樹祭 検索

